

別科長あいさつ

べっかちやう こばやし たかお
別科長 小林 孝郎

たくしよくだいがく べっか にほんごきょういくかてい とうきょう ちゆうしん ぶんきやうく
拓殖大学 別科(日本語教育課程)は、東京のほぼ中心の文京区にありま
す。東京駅 からメトロで10分、新宿駅 から15分、池袋駅 から5分で 拓殖
だいがく みよがだにえき つ べんり
大学のある茗荷谷駅に着きます。とても便利なところにあります。

べっか たくしよくだいがく なか せつち にほんご がっこう れきし ふる
別科は、拓殖大学の中に設置されている日本語の学校です。歴史は古
く、今から45年前、1972(昭和47)年に開設されました。現在までにこの
がっこう にほんご べんきやう ひと にん こ しゅうりやうせい
学校で日本語を勉強していった人は、4,600人を越えます。修了生のある人
は たくしよくだいがく しんがく ひと ほか こくないがいの だいがくいん しんがく
拓殖大学へ進学し、またある人は他の大学や国内外の大学院に進学
して行きました。

しかし最近では、留学生のニーズや目的が変化してきていて、いろいろな勉強方法が必要になってきています。
そのため、別科では、現在日本語の授業にもいろいろな新しい方法を取り入れています。特に、非漢字圏の
がくしゅうしゃ かんじじゆぎやう とくべつわく だいがくいんしんがく もくひやう す やうい にほんごのうりよくしけん
学習者への漢字授業の特別枠や、大学院進学に目標を据えたコースを用意しているほか、日本語能力試験
の各レベルの合格に照準を合わせたコースも設けています。

また、あらゆる進路への受験に対応できるよう、「日本事情」「地理・歴史」「現代社会」などの文系科目、「
すうがく ぶつり せいぶつ かがく かりけい かもく それに りゆうがくせい あ えた「英語」の受験準備もで
数学」「物理」「生物」「化学」などの理系科目、それに留学生それぞれのレベルに合った「英語」の受験準備もで
きるように、カリキュラムが編成されています。これはもともと別科が、「外国人留学生で大学における講義を理解」
できるように、「日本語および大学の授業に必要な学科目の予備教育を行う」ことを目的にかかげていたからで、
げんざい かずおお じつせき つつ あ じゆぎやう
現在までに数多くの実績を積み上げてきました。このため、別科の授業は、かなりハードなスケジュールです。
にほんご ひつしゅうかもく じゆぎやう じゆぎやう ぶん ふんきゅうけい しゅうかん かい じゆぎやう
日本語(必修科目)の授業だけでも1つの授業は90分(5分休憩)で、1週間に15回の授業があります。つまり、
まいにち べんきやう しゅうちゅうりよく たいせつ
毎日の勉強には、集中力が大切です。

しかし、留学生生活は、朝から晩まで勉強だけで終わってしまうわけではありません。毎週1回のクラスホーム
ルームの時間は、担当の教員と生活や進路・将来の希望などについて相談ができます。また、ボランティアの「学
生交流支援会」の学生たちが、みなさんの学生生活をサポートします。ボランティア学生と一緒に活動する1年間
の別科行事には、リクリエーション活動や、旅行などもありますし、スピーチコンテストのような日本語の催しもあり
ます。

別科は、春入学(4月)と秋入学(9月)の2回、入学の機会があります。

別科へ入学して勉強したあとは、拓殖大学への推薦入学制度があります。また、学力が認められた人には
がくぶ ねんせい あるいはねんせい へんにゅうがくせい だくしよくだいがくだいがくいん じゆけん かのう
学部3年生あるいは2年生への編入学制度もあります。もちろん拓殖大学大学院の受験も可能です。

がくぎやうしゅうしゅうしゃ たい たくしよくだいがくべっか しやうがくきん もんかしょうがいこくじんりゆうがくせいがくしゅうしゅうれいひ たかやまこくさいきやういくざいだん
学業優秀者に対しては、「拓殖大学別科奨学金」「文科省外国人留学生学習奨励費」「高山国際教育財団
しやうがくきん しやうがくきん せいど
奨学金」などの奨学金制度もあります。

みなさんの将来への希望が実現するように、みなさんと一緒に学べる日を楽しみにしています。拓殖大学
べっか きやうしゅういん ぜんいん まいにち がくせいせいいかつ おうえん い おも
別科の教職員は、全員で、みなさんの毎日の学生生活を応援して行きたいと思えます。

